キャラクター名: 西城戸 光輝/Kouki Nishikido

プレイヤー名:

シンドローム	エンジェルハィロゥ ウロボロス	ワークス	高校生	カヴァー	〃
オプショナル		年齢	16	性別	男
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	38 %
出自	安定した家庭	経験	ニュース	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	1	0			2
感覚	4	0	0			4
精神	3	0	0			3
社会	0	0	1			1

HP	27
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報： 噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光の銃 Lv1	射撃	4r	-	3		《光の銃》によって作成。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
光使い(ライトブリンガー)	P	N		
西城戸 聖夜(弟)	P 幸福感	N 偏愛		
友人達	P 親近感	N 偏愛		
東条 弾丸	P 好奇心	N 偏愛		
月城本丸郎御殿	P 尊敬	N 偏愛		
泰 桜春	P 尽力	N 偏愛		
最上 炎上	P 同情	N 偏愛		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
光の銃	1	2	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	ー	
効果：	そのシーン中、武器を作成し装備する。							
原初の黒：ヒュドラの怒り	5	4+2	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	100↑	
効果	:あなたは「ライニング：発射」およびエキューエフェクトLv(N)「制限：ｰ」か「制限：100%」のエフェクトのうちどれか1つを選択し、発動する。発動したエフェクトの効果値はｰ1される。使用回数制限のあるエフェクトを発動した場合、基本使用回数を+2する。また、この効果で発動したエフェクトは「制限：100%」となる。：あなたのRCシンドローム1つの判定のダイスを+1Lv(下限1)する。ただし、あなたは出目操作、バッドステータスの重度を受ける。この場合は、タイタスの昇華を許さない。							
CR：エンジェルハイロゥ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	ー	ー	自動	ー	
効果：	組み合わせた判定のクリティカル値を-Lvする(下限値7)。							
影縛りの魔弾	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	ー	〈射撃〉	ー	
効果：	このエフェクトを組み合わせた射撃攻撃が命中した場合、そのラウンドの間、対象が行うガードのガード値を-[Lv×3]する。							
光の指先	3	2	ﾒｼﾞｬｰ･ﾘｱｸｼｮﾝ	ー	ー	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	D	
効果：	組み合わせた判定のダイスを＋[Lv+2]個する。							
レックレスフォース	3	ー	常時	至近	自身	自動	ー	
効果	:あなたがバッドステータスの暴走を受けている間、あなたが行うメジャーアクションのダイスを+Lv個する。このエフェクトは侵食率でレベルアップしない。このエフェクトを取得した場合、侵食率基本値を+2する。							
スポットライト	1	ー	ﾒｼﾞｬｰ	視界	効果参照	自動	ー	
効果	:光を屈折させて、任意の場所に光源を設置するエフェクト。光源から放たれる光は使用者の望むままに色や角度をコントロールでき、さらに演出も思いのままである。ただし、音楽は鳴らない。							
影絵芝居	1	ー	ﾒｼﾞｬｰ	視界	ｼｰﾝ(選択)	自動	ー	
効果	:任意の形や大きさを持つ影を作り出し、自由自在に動かすエフェクト。あたかも、その影を作り出している物体が視界外に存在するかのように投影することも可能である。見破ろうとする場合は、観察者の〈知覚〉とあなたの〈RC〉での対決を行うこと。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【概要】
気の良い男子高校生。誰にでも分け隔てなく接する超善人。
あまりに人が好過ぎて逆に不気味がられている。

【性格】
良くも悪くも人が好過ぎる。どんな損を被っても快く許し、模範的とすら言い表せないレベルの正義感に溢れている。そんな無償の善性が不気味と取られることも少なくない。
こんな生きづらい性格を成り立たせるスペックの高さも、人間味を失わせている。

【来歴】
西城戸光輝は正しくあろうとした。誰よりも誠実で実直、公明正大な人間を目指して生きようと、己の全てを捧げてきた。誰かの為に働くことを苦痛と思わず、そのために己を磨いてきた。頭脳明晰、運動神経抜群、素行は言うまでもなく良い。教師の手伝いに部活の助っ人、休日の大半はボランティアに費やし、将来の夢を聞かれれば恥ずかしげもなく『誰かのためになるなら何でも』と答える、底なしのお人よしだった。

【批判】
西城戸が成長し中学生くらいになると、その行動はマスメディアにも注目され取材を受けるようになった。西城戸は快く引き受け、彼の人間性を讃える記事がいくつも世に出回った。だがそれに対する反応は良いものばかりではなく、西城戸を称賛する一方で、彼を“偽善者”、“打算的”と批判する声も見られた。
こういった経験は初めてではなかった。彼が日常を送る中でも、西城戸を“いい子ちゃん”、“点数稼ぎ”と揶揄する同級生は多かった。最も身近な存在では、弟である聖夜。聖夜は優秀な兄との比較に耐えかねて不良に片足を突っ込んでいる。それを気にせず親しく接するほど、聖夜の癇に障ってしまう。光輝はただ、仲の良い兄弟でありたいだけなのに。

【苦悩】